

科目名	情報処理演習 I					担当者名	小林健雄
	幼2種(必修)						
ナンバリング	26Y11A01	授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	1年・①
授業内容	PCの基本的な仕組みやソフトウェアの利用方法、情報検索・受発信など活用できるようにする。 Wordの基本機能を理解し、文章の入力や図・表の挿入、段組、差し込み印刷等ができるように日本語文書の作成の仕方を習得する。 HTMLで簡単なホームページを作成する。						
到達目標	基本的な情報処理能力と情報を積極的に活用する態度を身に付けることができる。 Wordの基本機能を理解し、図・表の挿入、段組、差し込み印刷等の簡易な日本語文書を作成できること。指示された実習課題を作成できること。						
授業計画	回	タイトル	内 容				
	1	PCの基本操作	ウィンドウズの基本操作、ファイル操作、編集、保存、提出方法。				
	2	WORDの基本操作	文字入力、複写・削除、移動、書式設定				
	3	編集機能	文字位置、フォント操作、表の作成				
	4	活用機能1	アイコン・画像、3Dモデル、ワードアート				
	5	活用機能2	図形描画・テキストボックス・スマートアート・ドロップキャプ				
	6	応用機能1	グラフの挿入・差し込みデータ・翻訳機能				
	7	応用機能2	WORDでホームページ作成・DTP機能				
	8	HTML	簡単なHTMLタグでホームページ作成				
成績評価方法と基準	評価方法		評価基準			割合	
	授業参加態度		授業への参加意欲・取り組み姿勢があること			10%	
	授業中課題		課題の到達度			30%	
	実技試験		問題の正答率			60%	
教科書 参考図書	30時間でマスター Word2021 実教出版						
準備学習	あらかじめ教科書に目を通し、予習をしておくこと						
課題等に対するフィードバック方法	授業中課題の質問に答え、授業時間内に理解できなかったことは、メールにて質問を受け、応答する						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～4時間						
その他 留意事項							
実務経験と資格等							

科目名		情報処理演習Ⅱ				担当者名	小林健雄
		幼2種(必修)					
ナンバリング	26Y11B02	授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	1年・③
授業内容	PCの基本的な仕組みやソフトウェアの利用方法、情報検索・受発信など活用できるようにする。Excel(表計算ソフト)の基本的な機能の理解と操作方法を習得する。VBAプログラミングで簡単なマクロを作成する。						
到達目標	基本的な情報処理能力と情報を積極的に活用する態度を身に付けることができる。数式を入力して値を求めることができること。相対参照と絶対参照を理解すること。グラフを作成できること。合計、平均、最大・最小を求める。IF関数等主要な関数を理解し、使えること。						
授業 計画 画	回	タイトル	内 容				
	1	ワークシート操作	編集・書式設定・保存・提出方法				
	2	基礎的な関数	合計(SUM)・平均(AVERAGE)・最大(MAX)・最小(MIN)・個数(COUNT)				
	3	端数処理と条件の判定	四捨五入(ROUND)・切り上げ(ROUNDUP)・切り捨て(ROUNDDOWN) 条件の判定(IF)				
	4	各種グラフの作成	棒グラフ・折れ線グラフ・円グラフ・3Dグラフ・複合グラフ				
	5	データベース操作	データベースの、集計・並び替え・検索・置換・抽出				
	6	検索・文字列操作	列の検索(VLOOKUP)・行の検索(HLOOKUP)・列行の検索(INDEX) 文字列操作(LEN・LEFT・RIGHT・MID・VALUE・FIXED・MOD)				
	7	データベース関数と条件付き集計	データベース関数(DSUM・DAVERAGE・DMAX・DMIN・DCOUNT) 条件付き集計(COUNTIFS・SUMIFS・AVERAGEIFS)				
	8	マクロとVBAプログラミング	マクロによるコンピュータ処理の自動化				
成績評価方法と基準	評価方法		評価基準			割合	
	授業参加態度		授業への参加意欲・取り組み姿勢があること			10%	
	授業中課題		課題の到達度			30%	
	実技試験		問題の正答率			60%	
教科書 参考図書	30時間でマスター Excel2021 実教出版						
準備学習	あらかじめ教科書に目を通し、予習をしておくこと						
課題等に対するフィードバック方法	授業中課題の質問に答え、授業時間内に理解できなかったことは、メールにて質問を受け、応答する						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～4時間						
その他 留意事項							
実務経験と資格等							

科目名	日本語表現 I (文章)					担当者名	八木 雄一郎
	選択						
ナンバリング	26Y11A03	授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	1年・①
授業内容	良い文章を書くための基本的な技術やルールを学ぶとともに、文章を書く際の着想力や発想力、文章の構成に要求される表現技術を身に付ける。レポート、論文の書き方等の文章作法を習得する。						
到達目標	日本語による文章作成に関する基本的な能力が身に付いている。						
授業計画	回	内 容					
	1	日本語表現についての概論					
	2	知的活動でも職業生活や社会生活でも必要となる基本的な日本語の運用					
	3	文章を書くための基本的な技術やルール					
	4	文章を書く際の着想力や発想力					
	5	文章の構成に要求される表現技術					
	6	新聞記事などの朗読を通して学ぶ効果的な朗読法					
	7	目的に合わせた文章表現					
	8	授業のまとめ					
成績評価方法と基準	評価方法	評価基準				割合	
	課題への対応	授業課題への取り組み				40%	
	授業時の活動	活動への参加態度				30%	
	最終レポート	課題の趣旨を理解し、自身の考えを文章として適切にまとめられているか。				30%	
						%	
教科書	特になし						
参考図書	授業中に指示する。						
準備学習	授業後に課題を出すことがあるので、次時までに取り組んでくること(提出方法などは授業中に指示する)。						
課題等に対するフィードバック方法	提出された作文等については資料化し、受講者全体で共有できるようにする(授業時の教材とする)。						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1~2時間を推奨する						
その他 留意事項							
実務経験と資格等	信州大学教育学部准教授(国語科教育学関連の講義・演習を担当)、長野看護専門学校非常勤講師(「論理学」担当)						

科目名	日本語表現Ⅱ（口頭）					担当者名	八木 雄一郎
	選択						
ナンバリング	26Y11B04	授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	1年・②
授業内容	発声や発音の訓練、的確な意見の述べ方や議論の進め方、論理的思考、客観的思考、説得力や自己表現力を高めるための技法などを学習し、初年次教育科目として日本語による発表や討論のための実践的なスピーチ、プレゼン等の能力を高めていく。						
到達目標	論理的思考や客観的思考に基づいた実践的なスピーチができる。						
授業計画	回	内 容					
	1	日本語表現Ⅱの概論					
	2	聞きやすい発声や発音の訓練					
	3	論理的思考・客観的思考に基づいた的確な意見の述べ方について					
	4	論理的思考・客観的思考に基づいた議論の進め方について					
	5	説得力や自己表現力を高めるための技法について①					
	6	説得力や自己表現力を高めるための技法について②					
	7	演習					
	8	授業のまとめ					
成績評価方法と基準	評価方法	評価基準				割合	
	課題への対応	授業課題への取り組み				40%	
	授業時の活動	活動への参加態度				30%	
	最終レポート	課題の趣旨を理解し、自身の考えを文章として適切にまとめられているか。				30%	
						%	
教科書	特になし						
参考図書	授業中に指示する。						
準備学習	授業後に課題を出すことがあるので、次時までに取り組んでくること(提出方法などは授業中に指示する)。						
課題等に対するフィードバック方法	提出された作文やレポート等については資料化し、受講者全体で共有できるようにする(授業時の教材とする)。						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～2時間を推奨する						
その他 留意事項							
実務経験と資格等	信州大学教育学部准教授(国語科教育学関連の講義・演習を担当)、長野看護専門学校非常勤講師(「論理学」担当)						

科目名	英語表現 I (基礎)					担当者名	中田麗子
	幼2種 (必修)						
ナンバリング	26Y11A05	授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	1年・①
授業内容	高等学校までの既習の教科目の学習内容を踏まえたうえで、保育に関連した場面において頻出する英語の表現、実際の場面を想定した英語によるコミュニケーションについて学習する。						
到達目標	保育に関連した場面において頻出する英語表現や実際の場面を想定した英語によるコミュニケーションができる。						
授 業 計 画	回	内 容					
	1	英語表現 I (基礎) の概論					
	2	保育における英語表現①自己紹介					
	3	保育における英語表現②道案内					
	4	保育における英語表現③体調を聞く、確認テスト					
	5	保育における英語表現④好きなものを聞く					
	6	保育における英語表現⑤ものの場所を示す					
	7	保育における英語表現⑥人に何かするように／しないように言う					
	8	確認テストと授業まとめ					
成績評価方法と基準	評価方法	評価基準				割合	
	授業態度	授業ごとのリアクションペーパーを提出できたか				40%	
	確認テスト					60%	
						%	
教科書	—土屋麻衣子著『Happy English for Childcare 保育のための基礎英語』(金星堂)						
参考図書							
準備学習	あらかじめ教科書に目を通し、予習をしておく。授業で出された課題をやっておく。						
課題等に対するフィードバック方法	リアクションペーパーは、次の授業の際に講評を行う。確認テストは授業で振り返りを行う。						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～2時間を推奨する						
その他 留意事項							
実務経験と資格等	保育士、英検1級、国際学会や会議における英語での口頭発表・議論、英語論文の執筆。						

科目名	英語表現Ⅱ（応用）					担当者名	中田麗子
	幼2種（必修）						
ナンバリング	26Y11B06	授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	1年・②
授業内容	既習の「英語表現Ⅰ（基礎）」の学習内容を踏まえたうえで、保育の場面で使える、覚えておく便利な英語の表現について学ぶとともに、自分の意見を相手に伝えることのできる英語による応用的なコミュニケーションについて学習する。						
到達目標	保育場面で使う英語の表現や自分の意見を相手に伝えることのできる英語による応用的なコミュニケーションができる。						
授 業 計 画	回	内 容					
	1	「英語表現Ⅱ」の概要、様々な場面において覚えておく便利な英語①食物アレルギー					
	2	様々な場面において覚えておく便利な英語②お昼寝・排泄					
	3	様々な場面において覚えておく便利な英語③1日の様子を伝える					
	4	自分の意見を相手に伝える場面でのコミュニケーション①予定を伝える、確認テスト					
	5	自分の意見を相手に伝える場面でのコミュニケーション②同僚との打合せ					
	6	自分の意見を相手に伝える場面でのコミュニケーション③体調不良について伝える					
	7	グループ課題の発表					
	8	確認テストと授業のまとめ					
成績評価方法と基準	評価方法	評価基準				割合	
	授業態度	授業ごとのリアクションペーパーを提出できたか				40%	
	確認テスト					60%	
						%	
教科書	—土屋麻衣子著『Happy English for Childcare 保育のための基礎英語』（金星堂）						
参考図書							
準備学習	あらかじめ教科書に目を通し、予習をしておく。授業で出された課題をやっておく。						
課題等に対するフィードバック方法	リアクションペーパーは、次の授業の際に講評を行う。確認テストは授業で振り返りを行う。						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～2時間を推奨する						
その他 留意事項							
実務経験と資格等	保育士、英検1級、国際学会や会議における英語での口頭発表・議論、英語論文の執筆。						

科目名		キャリアデザイン I			担当者名	
ナンバリング		授業の種類		単位数		開講時期
授業内容						
到達目標						
授 業 計 画	回	内 容				
	1	令和8年度開講なし				
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
成績評価方法と基準		評価方法	評価基準			割合
教科書						
参考図書						
留意事項						
課題等に対するフィードバック方法						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間						
実務経験と資格等						

科目名		キャリアデザインⅡ				担当者名	荻原美広
		選択					
ナンバリング	26Y11D07	授業の種類	講義	単位数	1	開講時期	2年・①
授業内容	キャリア理論や各種アセスメントを通して自己理解を深め、保育者という職業への理解を踏まえながら、将来のキャリア形成について主体的に考える。ビジネスマナーに関する知識や態度の習得を測る。(理論、個人ワーク、共有)						
到達目標	①自己理解を含め、保育者としての進路や将来のキャリアについて主体的に考えることができる。 ②保育者に求められる資質や社会人としての基本的態度を理解する。 ③自己の価値観や興味・能力を踏まえ、将来のキャリアについて主体的に考え、自分なりのキャリアプランを描くことができる。						
授業計画	回	内 容					
	1	キャリア形成の自己理解。(キャリアの意味(人生・仕事・成長)保育という仕事の社会的役割、キャリア形成の自己理解)					
	2	キャリア・レインボーによる人生役割の理解					
	3	キャリア・アンカーによる価値観と職業観の理解					
	4	職業適性と職業興味の理解(GATB・VPIの考え方)					
	5	職業理解とキャリア形成					
	6	社会人基礎力と社会で求められる能力					
	7	メンタルヘルスとストレスマネジメント					
	8	キャリア形成のまとめ、自己のキャリアプラン作成					
成績評価方法及び基準		評価方法	評価基準			割合	
		平常点(授業参加)	授業内のワークやディスカッションに積極的に参加しているか。			20%	
		課題・振り返り	各回のテーマについて自己理解を深め、自分の考えを適切に表現できているか。			30%	
		最終レポート(キャリアプラン)	授業内容を踏まえ、自身のキャリア形成について論理的に考察できているか。			50%	
教科書	資料等を配布する。						
参考図書	必要に応じて提示する。						
準備学習	時事関連のニュースも含め、新聞等を読み、自身の経験や考えを整理することを心がけておく。						
課題等に対するフィードバック方法	「振り返りシート」の記入を課すこともある。						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	キャリアをデザインするために必要と思われる時間を費やすこと。						
その他 留意事項	授業中の飲食禁止。						
実務経験と資格等							

科目名		経済と政策			担当者名	
ナンバリング		授業の種類	単位数	開講時期		
授業内容						
到達目標						
授 業 計 画	回	内 容				
	1	令和8年度開講なし				
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
成績評価方法と基準		評価方法	評 価 基 準		割合	
教科書						
参考図書						
準備学習						
課題等に対するフィードバック方法						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間						
その他 留意事項						
実務経験と資格等						

科目名		自然と環境			担当者名	
ナンバリング		授業の種類		単位数	開講時期	
授業内容						
到達目標						
授 業 計 画	回	内 容				
	1	令和8年度開講なし				
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
成績評価方法と基準		評価方法	評 価 基 準			割合
教科書						
参考図書						
準備学習						
課題等に対するフィードバック方法						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間						
その他 留意事項						
実務経験と資格等						

科目名	育児と介護					担当者名	吉澤 恵子
	選択						
ナンバリング	26Y11E08	授業の種類	講義	単位数	1	開講時期	2年・②④
授業内容	高齢化社会の進展に伴う核家族化や単身世帯の増加など現代社会が抱える問題点や課題について認識を深めることで、育児や介護のあり方について考察していく。						
到達目標	現代家族の機能や役割と家族制度や家族関係をめぐる諸問題について考えることができる。						
授業計画	回	内 容					
	1	授業の目的と概要について					
	2	育児と介護の現状と課題					
	3	育児と介護に関わる制度や施策の変遷					
	4	介護を必要とする人の理解					
	5	介護のはたらきと基本的な視点					
	6	育児と介護のサービスのあり方と多職種連携について					
	7	医療的ケア児の現状と課題					
	8	育児と介護を支えるコミュニティ					
成績評価方法と基準	評価方法	評価基準				割合	
	グループワーク参加態度	グループワーク等積極的に参加し、課題に取り組んでいる				40%	
	レポート	内容及び提出状況				60%	
						%	
教科書	最新福祉養成講座12 発達と老化の理解：中央法規						
参考図書	国民衛生の動向 ・ 現代社会福祉の諸相 著者：大熊信成・嶋田芳男・増田康弘 大学図書出版						
準備学習	自分の身の回りの育児や介護の状況に関心を寄せる						
課題等に対するフィードバック方法							
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～2時間を推奨する						
その他 留意事項	適宜実施するグループワーク等に積極的に参加すること						
実務経験と資格等							

科目名		健康と運動 I				担当者名	白金 俊二	
		幼2種・保育士（必修）						
ナンバリング		26Y11D11	授業の種類	講義・演習	単位数	1	開講時期	1年・①②
授業内容		社会生活における健康と安全について概説したうえで、健康と安全や運動についての理解と各種の運動の特性に応じた実践を行い、技能や能力を身に付けて行く。						
到達目標		運動の楽しさが分かり、運動の特性に応じた基礎的スキルを身に付けることができる身体や体力への理解を深め、健康に対する見方、考え方を広げることができる						
授 業 計 画	回	内 容						
	1	授業の目的と概要について						
	2	コーディネーション運動						
	3	野外の活動の意義とレクリエーションゲームについて						
	4	レクリエーションゲームの実践（集中授業）						
	5	レクリエーションゲームの実践（集中授業）						
	6	ネット型球技 バドミントン（集中授業）						
	7	〃 バレーボール（集中授業）						
	8	〃 バレーボール						
	9	ジャンピングロープ（短縄・大縄）						
	10	〃（ダブルダッチ）						
	11	ベースボール型球技 ティーボール						
	12	ターゲット型球技 ボッチャ・モルック						
	13	日本の健康水準と現代の健康課題について						
	14	生活習慣病の予防について						
15	感染症の予防について							
成績評価方法と基準		評価方法		評価基準			割合	
		実技課題		それぞれの種目の特性を理解し、基礎的な知識・技能の習得ができたか			60%	
		課題レポート		課題の主旨に沿って適切にまとめられたか			40%	
教科書		健康と運動の理論と実践（学術文芸出版）						
参考図書		必要があれば資料をGoogle classroomに載せる						
準備学習		日頃から健康管理をしておきましょう						
課題等に対するフィードバック方法		添削し返却する						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間		1時間程度を推奨する						
その他 留意事項		体育館内のWBGT測定器の数値(暑さ指数)やアラートの発令などにしたがって、講義に内容を変更することがあります。その他、運動にふさわしい服装、髪形で参加し、サンダルは禁止とします。また、指示がなくても水分補給をするなど、健康・安全に留意して行いましょう。						
実務経験と資格等		長野県内の公立小学校・中学校教諭として26年間勤務 地域のスポーツクラブの指導者及び幼児の運動遊び教室の指導者						

科目名	健康と運動Ⅱ				担当者名	白金 俊二	
	幼2種・保育士（必修）						
ナンバリング	26Y11D12	授業の種類	講義・演習	単位数	1	開講時期	2年・②③
授業内容	適切な運動の経験を通して生涯に通じる健康と健康を支える環境づくりについて理解したうえで、生涯スポーツの目的や意義について学ぶ						
到達目標	個人の生活・健康状態・年齢及び体力に応じた生涯スポーツの実践や方法について理解できる						
授 業 計 画	回	内 容					
	1	体力向上・健康増進のための運動について					
	2	ネット型球技（2）バレーボール					
	3	ネット型球技（2）〃					
	4	ネット型球技（2）〃					
	5	スポーツの起こりと古代オリンピックについて					
	6	近代オリンピックについて					
	7	ベースボール型球技（1） ティーボール					
	8	ゴール型球技（1）フットサル					
	9	ゴール型球技（1）フットサル					
	10	生涯スポーツの意義について					
	11	ゴール型球技（2）バスケットボール					
	12	ゴール型球技（2）バスケットボール					
	13	ゴール型球技（2）バスケットボール					
	14	生涯スポーツ社会の実現について					
15	授業のまとめ						
成績評価方法と基準		評価方法	評価基準		割合		
		実技課題	それぞれの種目の特性を理解し、基礎的な知識・技能の習得ができたか		60%		
		レポート	課題の主旨を理解し、適切にまとめられているか		40%		
教科書	健康と運動の理論と実践（学術文芸出版）						
参考図書	必要があれば資料をGoogle classroomに載せる						
準備学習	日頃から体調管理をしておきましょう						
課題等に対するフィードバック方法	添削して返却する						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1時間程度を推奨する						
その他 留意事項	体育館内のWBGT測定器の数値(暑さ指数)やアラートの発令などにしたがって、講義などに内容を変更することがあります。その他、運動にふさわしい服装、髪形で参加し、サンダルは禁止とします。また、指示がなくても水分補給をするなど、健康・安全に留意して行いましょう。						
実務経験と資格等	長野県内の公立小学校・中学校教諭として26年間勤務 地域のスポーツクラブの指導者及び幼児の運動遊び教室の指導者						

科目名	日本国憲法（昨年参考）					担当者名	望月 誠
	選択						
ナンバリング	26Y11C13	授業の種類	講義	単位数	2	開講時期	1年・前期
授業内容	人の一生について出生から人生の終焉を迎えるまでには、親子関係・結婚と家族生活・労働と職場・財産と相続といった多くの問題に直面する。こうした身近な問題について、憲法を中心に法律を通して考えながら現実を直視し、積極的にかかわっていくことができるための学習をする。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法や法律を身近なものとしてとらえることができる。 ・法律的な視点で物事を考える習慣（リーガルマインド）を身につけることができる。 ・自分の考えを論理的に述べるができる。 ・討論を通じて相手との意見交換に積極的に参加できる。 						
授 業 計 画	回	タイトル	内 容				
	1	法とは何か	授業の目的と概要				
	2	憲法の基本原理(1)	憲法とは何か				
	3	憲法の基本原理(2)	憲法の私人間効力				
	4	憲法の基本原理(3)	人権の享有主体				
	5	平等権	法の下での平等				
	6	自由権(1)	信仰の自由				
	7	自由権(2)	学問の自由				
	8	自由権(3)	表現の自由				
	9	社会権(1)	経済的自由権と社会権				
	10	社会権(2)	教育を受ける権利				
	11	立法・行政	国会と内閣				
	12	司法	裁判所・違憲審査制				
	13	地方自治(1)	地方自治				
	14	地方自治(2)	地方自治				
	15	全体のまとめ	全体を振り返り重要なポイントを確認する				
成績評価方法と基準		評価方法	評 価 基 準				割合
		筆記試験	問題の正答率				70%
		課題・レポート・提出物	課題の主旨を理解し、適切にまとめられ提出できたか				10%
		授業参加態度	授業への参加意欲・取り組み姿勢を評価する				20%
教科書 参考図書	授業ごとテーマに沿った資料を配布する						
準備学習	自分が関心を持ったニュースや話題とそれについての感想をメモしておくこと(発表できるように)						
課題等に対するフィードバック方法	添削し返却する。また返却時における講評、解説を行う						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～4時間						
その他 留意事項							
実務経験と資格等							